

---

## 4057. ハウスB/L貨物情報登録呼出し

---

業務コード	業務名
NVC11	ハウスB/L貨物情報呼出し

## 1. 業務概要

### (1) 混載子B/L情報呼出し

「ハウスB/L貨物情報登録(NVC01)」業務によりシステムに登録した混載子B/L情報を呼び出す。

呼び出された情報は、NVC01業務において訂正を行うことが可能である。

### (2) 出港前報告情報呼出し

NVC01業務に先立ち、システムに登録されている出港前報告情報のうち、ハウスB/L情報よりNVC01業務に利用しうる情報を呼び出す。

## 2. 入力者

通関業、保税蔵置場、NVOCC、海貨業

## 3. 制限事項

1業務で入力可能な混載子B/L番号は最大20件とする。

## 4. 入力条件

### (1) 入力者チェック

①システムに登録されている利用者であること。

②混載子B/L番号に対する貨物情報DBが存在する場合は、当該混載子B/L情報を登録した利用者であること。

③混載親B/L番号に対して既に混載子B/L情報が登録されている場合は、混載子B/L情報の登録を行った利用者であること。

④②③以外の場合で、出港前報告情報DBから呼び出す場合は、AHR業務等の実施利用者であるか、AHR業務等で登録された通知先の利用者であること。

### (2) 入力項目チェック

#### (A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

#### (B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

### (3) 貨物情報DBチェック

#### (a) 混載親B/Lのチェック

混載親B/L番号に入力があつた場合で、混載子B/L番号に対する貨物情報DBが存在する場合は、以下のチェックを行う。

①貨物情報DBが存在すること。

②混載親B/Lであること。

#### (b) 混載子B/Lのチェック

混載子B/L番号に対する貨物情報DBが存在する場合は、以下のチェックを行う。

①混載子B/Lであること。

②関連付けがされている混載親B/L番号と、入力された混載親B/L番号が同一であること。

③混載子B/L番号のみ入力された場合は、混載親B/L番号との関連付けがされていないこと。

④混載仕分けを行う保税地域等で搬入確認済（保税地域等に蔵置中に混載仕分けを行う場合は、混載仕分確認済）でないこと。なお、混載仕分け場所がシステム参加保税地域等\*1以外の場合は、「システム外保税運送到着確認（SAT）」業務または輸入申告等の税関手続がされていないこと。

⑤入力されたすべての混載子B/L番号に対する貨物情報DBが存在すること。

(4) 出港前報告情報DBチェック

混載子B/L番号に対する貨物情報DBが存在しない場合は、出港前報告情報DBに対して以下のチェックを行う。

①出港前報告情報DBが存在すること。

②ハウスB/L情報であること。

(\*1) システム参加保税地域等とは、システム参加保税地域と「他所蔵置許可申請（TYC）」業務または「許可・承認等情報登録（保税）（PSH）」業務で登録された他所蔵置場所をいう。なお、システム参加保税地域とは、システムに参加している保税地域をいう。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(2) ハウスB/L貨物情報登録呼出情報編集出力処理

貨物情報DBまたは出港前報告情報DBよりハウスB/L貨物情報登録呼出情報の編集及び出力を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(3) 注意喚起メッセージ出力処理

①呼出情報を元に変更内容をシステムに反映する場合は、再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

②出港前報告情報DBよりハウスB/L貨物情報登録呼出情報の編集及び出力を行った場合は、注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

③②の場合かつ、ハウスB/Lに関連付けられたマスターB/L番号が複数混在した場合は、混載親B/L番号欄を出力しないため、手入力する必要がある旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
ハウスB/L貨物情報登録呼出情報	なし	入力者